

METI

2025年 新規職員採用案内

METIってナンダ？



経済産業省
中部経済産業局

2025 LIVE



経済産業省
中部経済産業局
Chubu Bureau of Economy, Trade and Industry

中部経済産業局職員採用

VOC
FREE

リサイクル適性

この印刷物は、国等による環境
物品等の調達の推進等に関する
法律（グリーン購入法）に基
づく基本方針の原則を満たす
紙を使用しています。



METI_CHUBU_RECRUIT

Mission

我々が果たすべき役割

地域の 力を未来に繋ぐ

皆さんは就職活動の中で何を考え、何を思っていますか。

就職活動は将来を見据える中で自分自身を見つめ直す機会であり、己との孤独な戦いと捉えることもできます。

期待、焦燥、憧れ、羨望などの混沌とした感情の中で常に先を見つめ、自分の思いの輪郭を明らかにしていく過程で、

新しい気づきであり、学びであり、もしかすると意外な自分に出会うチャンスであるかもしれません。

一〇〇年に一度の大変革期と言われる中部地域の中核である自動車産業はもちろんのこと、

急速に進展するデジタル技術、多様化する社会課題、資源・エネルギー価格の高騰など、

先行きが不透明な中で我が国の経済社会の運営は、難しい舵取りが必要とされています。

私たちは、地域の行政ニーズを的確に捉え、現状の分析の中から新しい可能性を見つけ出す、

漠然とした未来への展望を具体化し、着実に歩みを進めることができる人材を求めています。

とても幸いなことにこの職場は、一人一人の自己研鑽の上だけでなく、助け合う仲間とチームの力で成り立っています。

互いに尊重し、多様な個性を掛け合わせることで、これまでにない新しい可能性が拡がり、新しい価値の創造に繋がると信じています。

私たちと共に中部地域の未来を紡いでいきませんか。

中部経済産業局長

寺村英信

Vision

組織が目指す方向性

私たち中部経済産業局は、

時代の変化を先取りし、地域の施策展開をデザインして、

いち早く発信・実行することで、

変化に挑戦し続ける地域経済・産業の持続的な発展に貢献し、

真に地域から信頼され期待に応えうる組織を目指します。

Values

組織として共有する価値

現場主義

地域によりそい、
地域経済の発展に必要な施策を
実現・実行します。

自由闊達

多様性を尊重し、
個の力をチームとして結集し、
時代の変化に柔軟かつ
スピーディーに対応します。

挑戦・完遂

失敗を恐れずに挑戦し
やり抜く姿勢を持ち、
困難な課題に対しても
果敢に取り組みます。

Values

伝統を継ぐ者たちへ

生活基盤を支え、成長の糧となるエネルギー政策

入省してから複数の部署や本省出向を経験しました。その中で特に数多く携わったのがエネルギー政策です。

私たちの生活の中に当たり前存在する電気やガスをはじめとしたエネルギーですが、私たちがエネルギーを享受するまでに、数多くの関係者の尽力や多数の制度・仕組みの上で「当たり前」が実現されています。

また、近年は「カーボンニュートラル」というキーワードを耳にした方も多いと思います。「カーボンニュートラル」とは、気候変動の原因の一つである温室効果ガスの排出を全体としてゼロにし、脱炭素社会の実現を目指すことです。気候変動ひいてはエネルギー問題は人類共通の課題であると同時に、解決に向けて国内外の政府・民間の取組が加速する、最も成長が見込まれる産業市場でもあります。

国民生活を支える基盤でもあり日本経済の成長に大きく寄与するのが、エネルギー政策であり、経済産業省が行う魅力的な業務の一つではないかと思っています。

「職手継祭(してつさい)」プロジェクトを立ち上げる

2023年5月からは伝統工芸や窯業などの生活関連産業の担当をしています。

経済産業省が指定する「伝統的工芸品」を始め、地域の風土と文化の中で生まれ、継承により繋がれてきた地場産業の多くは、需要の減少とともに、市場規模縮小の傾向にあります。

一方で、コロナ禍を機にライフスタイルを見直し、生活の質を求める動きも広がっており、この時流を掴むことができるか否かは地場産業にとって大きな転換点だと感じています。

このような状況下、日本が世界に誇れる魅力をどのように発信していくか、地域の事業者や支援者らと議論し、熱量や思いに触れる中で、自分も力になりたいとの思いに突き動かされ、チームメンバーとともに「職手継祭(してつさい)」プロジェクトを立ち上げました。職手継という言葉に、職人とそれに関わる様々な担い手が伝統を未来へ継承していこうという意志を込め、伝統の炎を絶やさないために、取り組みを進めています。

プロジェクトとして道半ばではありますが、地域の事業者や支援者が我々の思いに賛同して協力していただく、期待のお声がけをいただくときには何事にも代えがたい喜びがありますし、未来が変わる兆しを肌で感じることができています。また、チームメンバーそれぞれが主体的に自分の得意を生かし、不得意を補いながら1つの目標に向かって取り組む中で、自分にはない感性を知ることができたり、自分でも気づいていないスキルが見いだされたり、チームで業務を行う面白さを感じています。

「職手継祭(してつさい)」は自分のアイディアやスキルが生かされ、自分達で作ってきたものだと思えるプロジェクトですし、どの職員にもチャンスが開かれて、自由闊達な議論ができる職場風土があるからこそ生まれたものだと感じています。

必要とされる力とは

業務遂行にあたっては専門的な知識も必要になりますが、物事を説明する力も重要だと感じています。説明の相手は誰になるのか、相手の関心や知識などを考慮し、情報を取捨選択しながら順序立てて説明することは、どんな業務であっても必要不可欠です。

また様々なステークホルダーと協働しながら仕事をする上で、いかに周りに協力者となってもらえるか(私は勝手に巻き込み力と呼んでいます)が、重要なスキルの1つだと感じています。

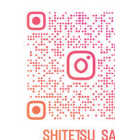
明確な正解がないからこそ難しいことですが、先輩職員や、時には後輩職員からも指導・助言をもらいながら試行錯誤することで、少しずつ力が身につけてきたと実感しています。

情報技術の進展により変動性と不確実性が増し、将来の見通しを立てることが難しくなっている現代では、グローバルからローカルまで多角的な視点が求められていくと思っています。

中部経済産業局の業務は、一言で簡単に言うと、日本全国ひいては世界を視野にしながら中部地域の発展に寄与する仕事であり、今後はより一層その役割が重要となると思います。地域の関係者の方が寄せてくださる信頼や期待に応えられるよう、これからも一層業務に邁進し、中部地域が持つポテンシャルを未来に繋いでいきたいと思っています。



職手継祭(してつさい)ロゴマーク
伝統の「炎」が燃え上がる様、「し」「て」「つ」の隠し文字



公式Instagram

産業部製造産業課
係長

坂野 佑真

【おもなキャリアパス】
資源エネルギー環境部エネルギー対策課
資源エネルギー庁電力・ガス事業部政策課
ガス市場整備室
資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課カーボンニュートラル推進室



まなざしの先に未来を映す

地域の強みを活かしながら取り組む政策課題

私が考える中部経済産業局の魅力は、最新の技術や経済動向、グローバルな視点をもちながら、企業の現場の声を聴き、自分なりに地域の強みを活かしながら本質的な課題に挑戦し、取り組めることだと感じます。

就職して5～6年目に経済産業省の基準認証政策に携わる機会を得て、産業政策、技術政策、通商政策等を踏まえ標準化政策のビジョンを決定していく過程に立ち会いました。
国際標準とは製品の品質、性能、安全性、寸法、試験方法などに関する国際的な取決めのことで、標準策定の国際会議に参加する機会も得ました。
標準化をリードすることにより、例えば非差別化領域(品質基準、試験方法等)に限定して国際標準化(オープン)し、製品の構造の要所は特許化により独占(クローズ)することで、事業戦略を規格の中に織り込み国際市場でより優位に事業拡大する戦略を垣間見ました。当時、高い信頼性と品質があれば売れると考える国内の思考に対する戦略です。
事業戦略の手法の一つとして企業が国際的なルールづくりに参加するという知見が当時の私にはなく、この経験から、地域にいたるときからグローバルな視

い手不足などの課題があります。

これらの課題解決のため、局内の関係課室や他の関係機関と連携し、地域の資源を活かした個性あふれる観光コンテンツづくりや観光DXの推進を行っています。万博開催前の今まさに取り組むべきミッションと考えており、日々必死で考えながら取り組んでいます。

そしてたすきを繋ぐ側へ

また、私は業務の傍ら3回の育児休暇・育児休業を取得しています。仕事と家庭の両立には、様々な制度を利用するだけでなく、職場の皆さんにも多大なサポートいただきました。そして子どもが大きくなるにつれて、少しずつ業務量を増やしながら働いています。もう少ししたら「たすき」をつなぎ応援する側になればと思いますし、私たちが両立を目指すことで職場も日本も更により良くなると思っています。
これから中部経済産業局に参加される皆さんは多様なバックグラウンドを活かし、前例にとらわれず挑戦いただきたいと思いますし、私自身もこれからも業務を通じて様々な経験を積むことで、自身の成長を目指し、地域の力を未来に繋げる人材の一人になりたいと思っています。

点で産業振興・企業支援を行うことの必要性や、課題や本質は自分の知らないところにある可能性があるため、自分の知識の中だけで解決しないこと、様々な方に力添えをいただくことの重要性を感じました。

中部経済産業局では、バックオフィス業務も経験しながら、ものづくり産業の一大集積地である中部地域の強みを活かした医療機器開発等の参入・開発支援に携わりました。自治体、支援機関、関係省庁が連携して参入・開発支援を行うため、集まりやすい「場づくり」により関係者を巻き込み、協力を構築し、協働して事業やイベントを進めました。その中で調整を失敗したり達成したりしたことは広域行政ならではの経験だったと感じます。

2025年の大阪・関西万博を契機とした

地域産業の活性化に向けて

現在は、2025年の大阪・関西万博に向けて、北陸新幹線延伸開業、2026年に愛知・名古屋エリアを中心に開催されるアジア最大のスポーツの祭典・アジア競技大会、そしてリニア中央新幹線の効果・インパクトを、最大限に中部地域の観光関連産業に取り込み、域内滞在・消費拡大を目指す取組を行っています。

中部地域は、先端技術産業から伝統工芸まである「ものづくり」、さらには、世界遺産や自然環境、食・農も併せ持つ観光・地域資源が豊富な地域です。しかしながら、当地域は東京～京都・大阪などを巡るインバウンドのゴールデンルートの途上にあるものの、宿泊者数は少なく、伝統工芸品は需要減少、担



©Expo 2025

産業部流通・サービス産業課
課長補佐

渡邊 仁美

[おもなキャリアパス]
地域経済部次世代産業課
ヘルスケア産業室
総務企画部調査課
総務企画部会計課



地域経済部航空宇宙・次世代産業課情報政策室 係長／事務系

柳澤 翔太

正しく理解し、必要とされる支援へ繋げる

「その施策で企業の行動を変えられますか？」以前に職場の人から言葉、心に残っている言葉です。正しい理屈だけで、企業を動かせるのかと。現在、企業のデジタルトランスフォーメーション（＝デジタルを活用した変革。DX）の推進を担当しています。少子高齢化・人口減少・物価高騰など社会的課題の波が産業に迫る中で、企業は変革を避けることはできません。しかし…「DXが必要なことは分かっている。でも難しい」。正論を声高に叫ぶだけでは現場は動きません。何がネックなのか、企業から本音を引き出し、真の課題を探ります。そして企業のために自分たちの立場で何ができるのか、部署一丸となって考えていく刺激的な毎日です。

こう書くと仕事に生きている人と思われるかもしれませんが、僕はワークライフバランスにも重きを置いています。ここにもチームの力は生きています。僕の退庁時間は16時15分です。皆さんが思ったよりも早いのではないのでしょうか笑。子どもが生まれたときには、2回に分けて合計7ヶ月の育児休暇を取得しました。復帰後も周りの人たちに支えてもらいながら、早く家に帰り、ある日はテレワークを活用して、育児に力を注いでいます。ワークライフバランスを大切にしながら、一緒に地域を盛り上げていきましょう！

【おもなキャリアパス】
地域経済部産業技術課
総務企画部総務課
電力・ガス事業北陸支局地域経済産業課

地域経済部国際課 係員／事務系

粟津 歩実

試行錯誤の先に自分の思いを一步步実現する

国際課では貿易管理をメインに担当しており、内容は経済安全保障からワシントン条約に基づくものまで多岐にわたります。一見地味な規制業務ですが、国や企業を守るための重要な役割であり、日々勉強しながら責任をもって取り組んでいます。国際課には他にも海外展開支援のためのセミナーやビジネスマッチング等、様々な業務があります。英語が得意な方は会議や海外出張で活躍できるかもしれません。

各課室の業務も魅力的ですが、当局には「チーム提案型創発的業務支援事業」があり、有志でプロジェクトを立ち上げ、課室横断的なチームで新しいチャレンジをすることもできます。自らニーズや課題を見つけ、試行錯誤しながら進めていくことは大変やりがいがあり、また成長のための貴重な経験にもなります。私は入省1年目の秋に福島県での研修に参加し、ふくしまの課題・国としての課題を再認識し、経済産業省としての責任・中部経済産業局としてできることについて考えました。そして、沢山の協力を得て、2年目の夏には名古屋城にて第1弾の復興支援イベントを実施しました。第2弾は中部地域とふくしまの両方にメリットを生む企画を検討しています。

国としての多角的で広い視野と、地域の“現場”からの視点を併せ持つ、そんなグローバルな組織だからこそできることがあります。さあ、あなたの思いをカタチにしませんか？

【おもなキャリアパス】
産業部流通・サービス産業課商業振興室



電力・ガス事業北陸支局総務課北陸経済企画調査室 係長／技術系

加藤 雄也

技術系の強みを活かしつつ多様な業務経験を積む

この職場は、事務系や技術系に関係なく、幅広い分野の業務に就くことができるのが魅力です。

私は技術系として採用されましたが、これまでのキャリアパスの半分以上は技術系とは関係のない業務を経験してきました。現在所属する北陸経済企画調査室では、鉱工業生産指数と呼ばれる統計を作成しています。担当するまでは鉱工業生産指数に関する知識がほぼゼロの状態からのスタートでしたが、省内職員向けに開催される研修などを利用することで、全く経験の無い業務でも基礎から知識を得ることができます。

過去にはエネルギー対策課や電力・ガス事業課などの技術系部署に所属し、再生可能エネルギーの普及業務や計量器メーカーへの立入検査など技術系ならではの業務を行ってきました。その一方で、経営支援課や中小企業課では、新商品開発や販路開拓を目指す中小企業に対して補助金による資金的なサポートをしたり、企業が災害時に備えて作成する事業継続力強化計画の作成支援をしたりするなど、地域企業に寄り添った業務もこれまで数多く行ってきました。技術系採用は、技術に特化した業務だけ行っているというわけではありません。

技術系の強みを活かし業務を行いたいと思いつつ地域企業への支援にも興味があるという方は、是非、志望してみてはいかがでしょうか。

【おもなキャリアパス】
資源エネルギー環境部電力・ガス事業課
資源エネルギー環境部エネルギー対策課
産業部中小企業課

岐阜信用金庫ソリューション営業部ソリューション営業課／出向先

鈴木 志帆

多角的な視点から学び成長する

入省4年目で本省に出向し、廃家電に含まれる資源の有効活用による循環型社会の実現に向けた政策検討や法令改正、また蓄電池産業戦略策定に携わりました。社会的な影響も大きく、目まぐるしいスピード感でこなしたナショナル事業から一転、現在は地域金融機関に出向し、中小企業に対し今までの経験を活かしながら脱炭素経営、補助金活用、産学官連携等の様々なソリューション提案営業を行っています。中部経済産業局は「現場主義」のマインドを大切にしているので、経営者の方と直接向き合い、生声に触れながらの手触り感ある現在の業務は、今後の施策立案や執行業務を担う上で活かすことができる貴重な経験だと思っています。

自分のキャリアを振り返ってみると、多くの期間を出向して過ごしています。新しい環境での仕事は緊張の連続ですが、多様な価値観を持つ素敵な人との出会いも多く、刺激を受ける中で、視野が大きく広がったと実感しています。希望に応じて成長できる環境や機会があることも、職場を選ぶ上では重要ですね。国、地域、官、民の垣根を越えて多彩なフィールドで活躍しながら自己成長できる環境は間違いなくあると思います！

【おもなキャリアパス】
資源エネルギー環境部電力・ガス事業課
商務情報政策局情報産業課（本省）
地域経済部地域振興・人材政策課





地域経済部航空宇宙・次世代産業課情報政策室 課長補佐／事務系

松永 亮

積み重ねた一つ一つの経験が確信へと繋がる

気が付けば入省して20年が経過しました。当時、就職先として様々な選択肢がある中で中部経済産業局に決めた理由は、所管業務の多様さと職員から感じた明るくて、ポジティブな雰囲気の魅力を感じたからだと記憶しています。入省後、様々な業務に携わってきました。中小企業の技術開発支援、経済動向の把握や統計分析、エネルギー関連、電力業界の規制、事業再生支援、総務課や会計課といったバックオフィス業務など、その分野は本当に多岐に渡ります。その間に本省や他省庁への出向も経験しました。世相に合わせて政策課題が変化していくのも当省の特徴だと思います。最近では、自動車のEVシフト、カーボンニュートラルへの対応、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進など、皆さんもどこかで聞いたことがあるワードだと思いますが、当省の重要な政策課題として注目されています。多様な経験ができる反面、職員に求められるものも多くなります。異動のたびに専門知識の習得が必要であったり、全く知らない分野の企業や関係者との関係を一から構築したり・・・どの部署でも何かしらの苦労がありました。その度に、厳しくも優しい諸先輩方、仲間たちに助けられ、他では味わえない貴重な経験を積みながら、ここまでやってくることが出来ました。20年前の判断は今でも間違いではなかったと感じています。

【おもなキャリアパス】
東海財務局理財部金融監督第一課
総務企画部総務課
総務企画部企画調査課

総務企画部総務課 係員／事務系

奥谷 颯汰

理想の未来のために今できることを

皆さんはどんな想いや理想を持っていますか？私は、これから生まれてくる子どもたちが、日本に生まれて良かったと思える国にしていきたいという想いから、国家公務員を目指し、経済産業省・中部経済産業局に飛び込みました。これからもそうした想いは自分の中で変わらず持ち続けたいと思っています。入省1年目は、2025年大阪・関西万博を契機とした中部地域の観光関連産業の活性化に繋がる取組や、商店街を起点とした地域経済の活性化に向けた取組を行っていました。そして入省3年目の現在は人事・採用担当として、職員が働きやすい環境づくりや、新規採用者向けイベントの企画立案・運営などを行っています。1年目の地域産業の振興に関する業務とは違う難しさがありますが、職員や学生の皆さんに寄り添うことを第一に考え、毎日仕事をしています。きっとこのパンフレットを手にとった皆さんの中にも、自分なりの理想を持っている方もいらっしゃると思います。ほかの誰かに自分の理想を委ねるのではなく、自分の手で理想の未来を実現したいと思っている方はぜひ中部経済産業局の門を叩いてみてください。同じ想いをを持った職員が皆さんのことを待っています。

【おもなキャリアパス】
産業部流通・サービス産業課



Workstyle Reform

誰もが働きやすい職場環境を目指して、働き方へのおもな取組。

▶柔軟な働き方の実現

○時差出勤・フレックス制度



時差出勤を導入しています。また、一定期間内の総勤務時間を変えることなく、始業・終業時刻及び1日の勤務時間を設定できます。

○在宅勤務（テレワーク）



多様な働き方を実現し、災害や感染症等の非常時の業務継続を可能とするため、一定の条件の下、在宅勤務を推進しています。

○オンラインミーティング



時間と場所の制約なくミーティング等に参加し、コミュニケーションを行います。複数の研修がオンライン併用にて実施されています。

▶仕事と家庭の両立支援

○育児時間



未就学児を養育する職員は、最大2時間まで勤務時間を短縮することができます。

○子の看護休暇



未就学児の看護等のため、1年間に5日の範囲内で特別休暇を取得することができます。

○男性の育児休業等取得率100%



配偶者出産休暇、育児参加休暇等を含め30日以上の子の休暇取得率100%です。（令和5年）

▶職員に対するキャリア支援

○新規採用職員研修



入省直後に新規採用職員研修を受講し、職員としての基礎知識や働き方を学ぶことができます。研修を通じて、全国の地方経済産業局の同期との繋がりを作ることも可能です。

○階層別研修



係員→係長→課長補佐→管理職とキャリアステージに合わせた研修を実施して、必要なスキルを習得するとともに自身のキャリア形成を考える機会を用意しています。

○民間企業派遣研修



地域企業の経営理念や創意工夫、課題等を理解して今後の政策立案・実行に繋げることを目的に、若手職員を対象として約3週間にわたって派遣研修を実施しています。

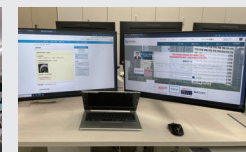
○学び支援制度



職員の自発的な知識・スキル習得を支援するため、語学・会計・法律分野等を対象とした講座等受講補助制度を実施しています。

▶快適なオフィス環境の整備

理想とする働き方を支えるオフィスづくりに力を入れています。年季の入った机や椅子を新調し、事務作業の効率化やペーパーレス化の実現に向けてデュアルモニターなどの導入が進んでいます。また、集中して作業ができる執務スペースや休憩、打合せなど多目的なフリースペースの設置、決まった席に座らないフリーアドレスを取り入れた柔軟な働き方に取り組んでいます。働く職員一人一人の意見を大切に、各職員の業務の性質に合わせて最適な場所で働ける快適なオフィスとなるよう整備を進めています。



庁舎移転について（2026年予定）

2年後、中部経済産業局は新しい庁舎に引っ越します。新しい「名古屋第4地方合同庁舎」は東海農政局、中部近畿産業保安監督部、中部地方環境事務所、中部地方整備局（港湾空港関係）が一緒に入居し、三の丸地区のまち・人・自然をむすぶ合同庁舎として行政機能の拠点となります。新しく生まれ変わるオフィスで一緒に働きませんか。



若手職員の1日

入省3年目 若手職員のとある一日の働き方を紹介します。



▶朝一番はメールをチェック!

まずはメールとTeamsを確認!1日のスケジュールを可視化し効率的な業務遂行を心がけています。また、周りが心地よく業務を進められるようこまめな報連相を意識しています!



▶自治体訪問

取引適正化の推進に向けた共同宣言を行う自治体を訪問。賃上げを含めた価格転嫁や適正な取引ができる社会の実現に向けて連携しています。



▶デスクワーク

午前の訪問内容について共有し、今後の方針を考えます。自分だけでは困るような重要な判断は、経験豊富な上司に相談し対応策と一緒に考えて取り組めるので大変心強いです。



▶終業後は...

美味しいものが大好きなので、名古屋の居酒屋や町中華、ピストロなどを日々開拓しています!業務が終わったらしっかり切り替えて、プライベートも全力で!

中小企業等の
取引適正化の推進に向けた
取組を行っています。



産業部中小企業課
取引適正化推進室
/事務系

酒井 愛実

[2022年入省]



この日は手作りお弁当♪

仕出し弁当も頼めます



▶合同ミーティング

2024年問題の取引適正化に向けて、他課室と合同ミーティングを実施します。課室の枠を超えて連携する業務もあり視野が広がります!



▶業務改善WG

若手職員が主体となり働きやすいオフィス環境について考え、オフィスレイアウトに意見を反映させます。



資源エネルギー環境部
エネルギー対策課
/事務系

木下 架見

[2022年入省]

▶同期とランチ

同期で集まってお弁当いつの間にかなんでも話し合える関係性になっていて、会う度元気が出ます。周りは桜や新緑に囲まれているので気分転換に散歩をしてリフレッシュすることも多いです。お昼が楽しいと午後も頑張れます!



▶BBLランチ

時にはTeamsでBBLに参加!自由参加の勉強会やBBLが様々なテーマで頻繁に開催されており、気軽に参加できます!



▶テレワーク

一人で集中したい業務を行う場合には、テレワークを利用するなど勤務形態を切り替えて柔軟に働くこともできます!

チームで進捗管理や
問題解決を図ります!



▶課内ミーティング

課内のメンバーで現在抱えている業務や困りごとを共有し進捗管理や問題解決を図ります。

8:00 始業

時差出勤のため、職員ごとに
出勤時間は異なります



▶朝イチは新聞チェック!

エネルギー分野の情勢はめまぐるしく変化するため、毎朝新聞に目を通し、課室に関連する記事を課内に共有しています。

9:00 デスクワーク

10:00

11:00

12:00 昼休み



▶デスクワーク

再生可能エネルギーの導入・利用の促進に向けて、FIT/FIP申請の認定業務を行います。また再生可能エネルギー発電事業で地域の問題などが生じた場合は必要に応じて電話や書面による指導を行い、地域と共生した再生可能エネルギーの普及を目指しています。

13:00 電話・来客対応



▶電話・来客対応

再生可能エネルギー発電事業者から様々な相談を受けます。法律に照らし合わせて回答したり、優良事例を紹介したりするなど誠意を持って対応します!

14:00 課内ミーティング

15:00

16:00 ミーティング

16:45



▶オフの日は...

野球とバレーボールの幹事を務めており、幅広い年次の方々とスポーツで交流しています。オフモードだと意外な一面も垣間見えて親密度が深まります!若手職員で休日に釣りやサウナに行くこともあります!

16:45 終業

17:00

18:00



地域振興・人材政策課／事務系

三宅 信彰

社会人1年目で慣れないことばかりですが、困っていると必ず手を差し伸べていただき、「安心感」があるのと同時に「チームで仕事をする」ということを実感しています。これからは、自分に任せていただいた業務を着実に遂行し、1日でも早く先輩方に追いつけるよう努力していきます。業務説明会は、業務内容に限らず職場の雰囲気など、普段はなかなか聞くことができない情報をたくさん知ることができるのでおすすめです。

製造産業課／事務系

平田 望

業務中に先輩方が施策や取組について熱い議論を交わしている場面をよく見かける“熱い”職場です。私も中部地域の発展に貢献できるよう、自分の仕事に責任を持って日々の業務に全力で取り組んでいます。官庁訪問では、職員の方が優しく、自分の思いを真剣に聞いてくださるため、緊張しながらも楽しむことができました!官庁訪問を通して仲良くなった人と今では同期になったので、良い思い出です!



総務課／事務系

伊藤由美子

私は、大学生の時に産学官で連携して商品開発に携わったことがきっかけで行政に興味を持ち中部経済産業局に入省しました。積極的に説明会に参加したり、疑問に思ったことは採用担当の方に直接質問するようにしたりして中部経済産業局の情報を集めました!官庁訪問ではとても緊張しましたが、ありのままの思いを職員の方にぶつけることができる唯一の機会なので、とても良い経験だったと感じています。中部地域から日本の発展に貢献できるよう頑張っています。

流通・サービス産業課／事務系

佐藤 駿太

中部経済産業局に入省した第一印象は「アットホームな職場」でした。そんな中部経済産業局で最も衝撃を受けたのは、仕事のスピード感です。職場では、飛び交う会話の情報量の多さもあることから、意思決定が迅速に行われています。これは世の中の流れを創っていく経済産業省の組織ならではの感覚でした。現在、私は2025年大阪・関西万博の業務を担当しており、入省1年目にこのような大きな規模の仕事を任せていただけるのは、中部経済産業局でしか経験できないことだと思っています。



経営支援課／事務系

高橋 彩穂

中部経済産業局は、先輩や上司など、丁寧に仕事を教えてくださる方々ばかりで、判断に迷うことやわからないことがあれば、いつでも気兼ねなく質問できる職場です。業務では責任を感じる瞬間も多いですが、仕事をやり遂げた時にはとてもやりがいを感じます。そんな中部経済産業局は、好奇心旺盛な人や新しいことにチャレンジしたい人にとってぴったりの職場だと思います!私たちと一緒に中部地域の経済・産業を盛り上げていきましょう!



エネルギー対策課／事務系

増野 日向子

「カッコイイ集団!」中部経済産業局は自分もこうなりたいと思う方がたくさんいる職場です!社会人となり、毎日はじめましての仕事や専門用語と戦い、苦戦することも多くありますが、カッコイイ先輩方にサポートしていただいているおかげで、少しずつ前に進めています!初心の挑戦する気持ちを忘れず、社会人1年目が終わる頃には、私がエネルギー対策課に配属されて良かったと思っていたくらい成長していきたいです!



イノベーション推進課／技術系

渡邊 菜月

温かい職場。これは私が中部経済産業局に入省して初めて抱いた印象でした。右も左もわからない中で不安でしたが、職員の方々が優しく声をかけてくださり、毎日安心して業務にあたる事ができています。社会人となり数ヶ月、今は早く人の役に立ちたいという一心で仕事をしています。先輩方のように活躍できるか不安ですが、1日でも早く業務を覚え、困っている人の手助けをしたいです。



国際課／事務系

砂子 瑛祐

中部経済産業局の業務では常に新たな世界を知ることができます。私は入省してすぐに輸出審査の業務を任せていただきました。好奇心旺盛な私にとってはぴったりの環境で、日々自分の成長を実感しています。社会人になって初めてで分からないことばかりですが、先輩方から積極的に知識やスキルを吸収しようと毎日頑張っています。これから様々な経験を積んでいくなかで、常に周りへの感謝の気持ちと謙虚さを忘れずに仕事をしたいと思います。



中小企業課／事務系

澁江 美保路

大学生から社会人になり、初めて経験することが多く、社会人としての責任を伴いつつ行動しなければならないので緊張もありますが、一つ一つの業務に誠実に取り組むことを意識して仕事をしています。官庁訪問は、自分の関心のある分野について、実際に政策に携わっている方からお話が聞けて、理解を深めることができる貴重な機会です。ぜひ職員の方と積極的に意見を交わして自分のやりたい仕事を見つけてください。



中部近畿産業保安監督部／技術系

鈴木 臣

多様性のある職場。私は入省してすぐ、このように思いました。自分の専攻分野にとらわれず幅広い業務に携わることができ、年次に関係なく、職員が自分の意見を伝えやすい雰囲気のある風通しの良い職場だと感じています。業務では専門的な知識が必要になるので、経験豊富な先輩のサポートを受けながら、日々業務を行っていく中で、実践的な知識を学んでいます。就職活動では自分の選択肢を無理に狭めようとせずに、広い視野を持つと良いと思います。

Join Us! METI